

X-TRAIL

簡単早わかりガイド

本書は、運転操作や装備の基本的な操作を抜粋して説明しています。
詳しい取り扱いについては、別冊の取扱説明書をお読みください。

本書掲載のマーク

	スイッチやレバーなどの操作方向を示しています。
	アドバンスドドライブアシストディスプレイの「設定  」の項目で、車両の設定を変更できる機能を示しています。
	NissanConnect インフォテインメントシステムやコントロールパネルなどにあるスイッチやボタンを表します。
	車両型式、オプションなどで異なる装備を示しています。

※車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

乗りはじめガイドのご案内

本車両に初めて乗られるお客さまに向けて、納車から自宅に帰るまでのお車の操作を説明した動画をご用意しています。

お手持ちのスマートフォンなどで裏表紙の簡単早わかり動画の二次元コードを読み取ると動画選択画面が表示され、乗りはじめガイドの▶マークを選択すると、再生開始画面に移動します。

各種動画のご紹介

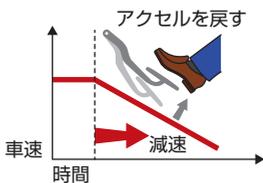
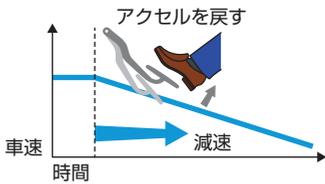
様々な機能について動画での説明を用意しています。

お手持ちのスマートフォンなどで裏表紙の簡単早わかり動画の二次元コードを読み取ると動画タイトルの一覧が表示され、▼マークを選択すると動画の一覧を表示します。

『e-Pedal Step』って？

使用 方法

e-Pedal Step について

e-Pedal Step	クリーブ	アクセルを戻したときの減速イメージ
e-Pedal Step ON	常時発生	
e-Pedal Step OFF		

e-Pedal Step を ON にすると、アクセル・ブレーキペダルの踏み替えを減らし、ドライバーの運転をサポートしますが、状況に応じてブレーキペダル操作を行ってください。

停車に向けて減速するときや停車時は必ずしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

シフトポジションを **D**、**N**、**R** に切り替えるときには必ずブレーキペダルを踏んでください。
(クリーブが発生するため)

エンジンが作動するシーンについて

e-POWER システムでは下記のようなときにエンジンが作動する場合があります。

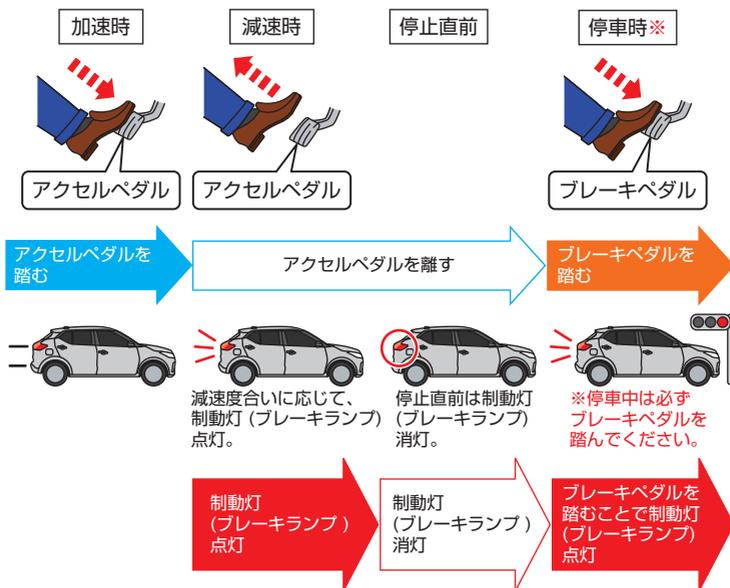
- ・ リチウムイオンバッテリーの残量が少ないとき（発電のため）
- ・ アクセルペダルを強く踏み込んだとき（発電のため）
- ・ 暖房を ON にしたとき（熱源となるエンジン水温を上げるため）
- ・ エンジンが冷えているとき（暖機のため）
- ・ e-POWER システムが始動している状態でボンネットを開けたとき（整備時の事故を防止するため）
- ・ チャージモード中（発電のため）
- ・ デフロスタースイッチを ON にしたとき

・ 長い下り坂を走行しているとき（減速度を生成するため）*

* エンジンは始動していますが燃料は消費しません

アクセル OFF 時の制動灯 (ブレーキランプ) について

アクセルペダルを離れた際、発生する減速度合いに応じて制動灯 (ブレーキランプ) を点灯させて、停止直前に消灯します。停車中はブレーキペダルを踏むことで、制動灯 (ブレーキランプ) が点灯します。



e-POWER 固有の音について

システム始動時や走行中は、e-POWER 固有の音が聞こえる場合があります。

聞こえる音	理由	どんな場合で聞こえる?
エンジン音① (ガソリンを燃焼させる)	発電をするため	・ リチウムイオンバッテリーの残量が少ないとき ・ アクセルペダルを強く踏み込んだとき
	熱源となるエンジン水温を上げるため	・ 暖房を ON にしたとき ・ デフロスタースイッチを ON にしたとき
	暖機をするため	・ エンジンが冷えているとき
エンジン音② (ガソリンを燃焼させない)	減速度を生成するため	・ 長い下り坂を走行しているとき
ヒューン	歩行者に車両の接近を知らせるため	・ エンジンが止まっている状態で、低車速で走行しているとき
キーン	駆動モーターや発電機を動かしているため	・ 急加速をしたとき ・ e-Pedal Step 走行で減速をしているとき
ウィーン、ブーン	駆動用バッテリー冷却用のファンを回すため	・ システムが必要と判断したとき (長い加速をしているとき、エアコン使用時、オーディオなどの電力負荷が高いときなど)

燃費を良くするためのポイント

燃費は、道路状況、天候や気温、乗員数などに大きく左右されます。
次のようなことに気をつけ電力の消費を抑え、燃費が良くなります。

お出かけ前に

- ・ 電力の消費が少ないルートを選択する（上り坂の走行は電力の消費が多くなります。上り坂の少ないルートを選択すると電力の消費を抑えられます）
- ・ 不要な荷物は積んだままにしない
- ・ 適切なタイヤ空気圧にする

運転するときは

- ・ ドライブモードは ECO モードで走行する
- ・ 暖房使用時の設定温度を控えめ（24℃以下）にする（寒いときはヒーターシートやステアリングヒーター*を使用する）
- ・ デフロスターの使用は必要最低限にする
- ・ なめらかに発進、加速する
- ・ 車間距離に余裕を持って、高速道路では速度を控えめに走行する
- ・ エコモード設定を ON（燃費優先）にする

エコモード設定

エコモード設定は、クルーズコントロール*/インテリジェント クルーズコントロール*とエアコン機能を燃費重視の設定に切り替える機能です。ディスプレイで「設定  ⇒「エコ」⇒「エコモード設定」を選択すると、ECO モード時の燃費重視機能の ON・OFF を切り替えることができます。

- ・ エコモード設定で「クルーズコントロール」を ON（燃費優先）にすると、クルーズコントロール/インテリジェント クルーズコントロールの加速度が OFF 時に比べて穏やかになり、燃費向上を図ります。
- ・ エコモード設定で「空調」を ON（燃費優先）にすると、OFF 時に比べて冷房の効きが弱まり、燃費向上を図ります。

ハンドルまわり

ワイパー／ウォッシャースイッチ 	8
アドバンスドドライブアシストディスプレイ 	8
ライトスイッチ 	8
ヘッドアップディスプレイ* 	9
セーフティ・シールドスイッチ*／ハンドル支援スイッチ* 	9
リモコンオートバックドア運転席スイッチ*	10
100V AC 電源 (1500W)*	10
ドアミラースイッチ	10

センターパネルまわり

オートエアコン (独立温度調整機能 (運転席、助手席))	12
パワースイッチ	13
ワイヤレス充電器*	13
EV モードスイッチ	13
e-Pedal Step	13
セレクトレバー	14
電動パーキングブレーキ	15
オートブレーキホールド	15
ドライブモードセレクター	16

外装まわり

リモコンオートバックドア* 	19
---	----

便利な機能

フロントシート	21
セカンドシート	24
サードシート*	25
インテリジェント ルームミラー	27
インテリジェント アラウンドビューモニター (移動物 検知機能、3D ビュー機能付)*	27
インテリジェント アラウンドビューモニター (移動物 検知機能付)	27
先進事故自動通報システム*	28
プロパイロット パーキング*	28

走行支援機能

インテリジェント エマージェンシーブレーキ 	31
踏み間違い衝突防止アシスト 	31
プロパイロット* 	32
LDW (車線逸脱警報) 	33
インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) 	34
インテリジェント DA (ふらつき警報) 	34
BSW (後側方車両検知警報) * 	34
インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) * 	34
RCTA (後退時車両検知警報) * 	35
進入禁止標識検知 	35
一時停止標識検知 	35
最高速度標識検知 	36
はみ出し通行禁止標識検知 	36
インテリジェント FCW (前方衝突予測警報) 	36

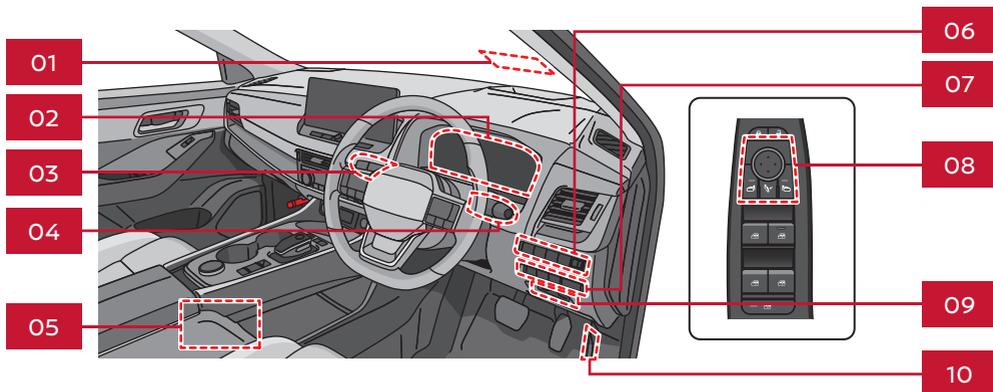
NissanConnect インフォテインメントシステム*

各部の名称と機能	37
機器接続 (Bluetooth® 対応機器の接続)	38
Google アプリおよびサービスについて	39
Google アプリおよびサービスの利用にあたって必要なこと	39

メーター警告灯・表示灯

警告灯・表示灯がついたとき	43
---------------	----

ハンドルまわり



01 ヘッドアップディスプレイ*…P.9

02 アドバンスドドライバアシストディスプレイ…P.8

03 ワイパー／ウォッシャースイッチ…P.8

04 ライトスイッチ…P.8

05 HDMI 端子*…P.38

06 TRIP RESET スイッチ

ヘッドアップディスプレイスイッチ*…P.9

セーフティ・シールドスイッチ*／ハンドル支援スイッチ*…P.9

VDC OFF スイッチ

ヘッドランプレベライザースイッチ*

07 リモコンオートバックドア運転席スイッチ*…P.10

100V AC 電源 (1500W) メインスイッチ*

イルミネーションコントロールスイッチ

08 ドアミラースイッチ (ドアロック連動格納機能付) …P.10

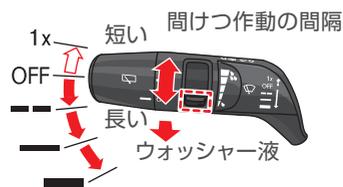
09 ETC ユニット*

10 ボンネットオープナー

ワイパー/ウォッシャースイッチ

フロントワイパー

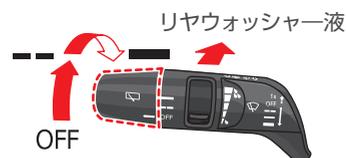
スイッチ位置	作動
1x	スイッチを上げている間作動 手を離すと OFF
OFF	停止
—	間けつ作動 (スイッチを回して作動間隔の長い、短いを調節)
—	低速連続作動
—	高速連続作動



スイッチを手前に引くとフロントウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

リヤワイパー

スイッチ位置	作動
OFF	停止
—	間けつ作動 (調節機能なし)
—	連続作動



スイッチを車両前方に押すとリヤウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

ディスプレイの切り替えかた

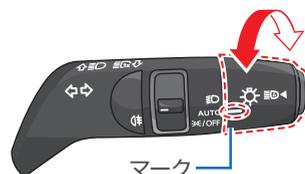
ステアリングスイッチでメーター内の画面表示が切り替わります。

ライトスイッチ

ランプの点灯・消灯

スイッチを回してマークをスイッチ位置に合わせます。

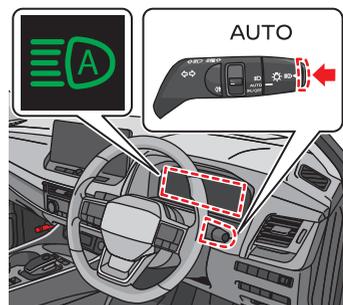
スイッチ位置	点灯する灯火
	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
AUTO	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯、デイトタイムランニングランプが自動点灯・消灯
 /OFF	回す - 車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯 (停車時) 回して1秒以上保持する - 全ランプが消灯 (停車時)



ハンドルまわり

ハイビームアシスト*について

先行車または対向車や周囲の明るさなどに応じ、ハイビーム(上向き)とロービーム(下向き)が切り替わります。約 25km/h 以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約 15km/h 以下になるとロービーム(下向き)に切り替わります。

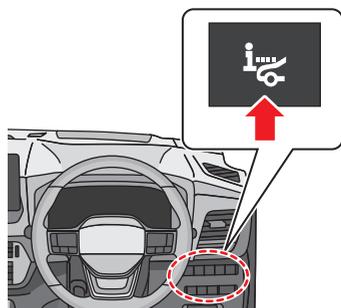


アダプティブ LED ヘッドライトシステム*について

先行車や対向車に照射しないよう、自動的にハイビーム(上向き)の照射範囲を切り替えます。約 25km/h 以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約 15km/h 以下になるとロービーム(下向き)に切り替わります。

ヘッドアップディスプレイ*

ヘッドアップディスプレイスイッチで ON・OFF を切り替えることができます。詳しくは、車両取扱説明書をご覧ください。



セーフティ・シールドスイッチ* / ハンドル支援スイッチ*

<セーフティ・シールドスイッチ>

・インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) の ON・OFF を切り替えることができます。

<ハンドル支援スイッチ>

・プロパイロットのハンドル支援の ON・OFF を切り替えることができます。

リモコンオートバックドア運転席スイッチ*

運転席スイッチを長押しすると、バックドアを自動で開閉することができます。

100V AC 電源 (1500W) *

100V AC 電源 (1500W) について

電気製品の電源をとるときに使います。

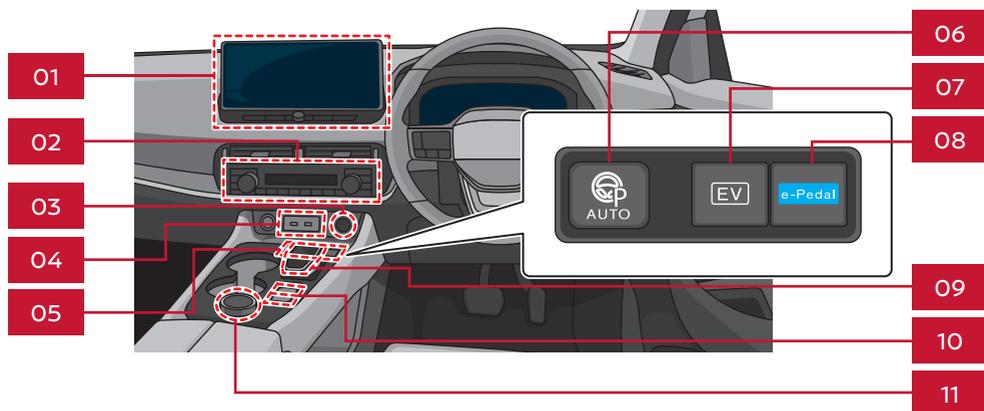


ドアミラースイッチ

ドアロック連動格納機能について

ドアの施錠に連動させ、ミラーを格納することができます。

センターパネルまわり



01 NissanConnect インフォテインメントシステム*…P.37

02 オートエアコン（独立温度調整機能（運転席、助手席））…P.12

03 パワースイッチ…P.13

04 USB 電源ソケット…P.38

05 ワイヤレス充電器*…P.13

06 プロパイロット パーキングスイッチ*…P.28

07 EV モードスイッチ…P.13

08 e-Pedal スイッチ

09 セレクトレバー…P.14

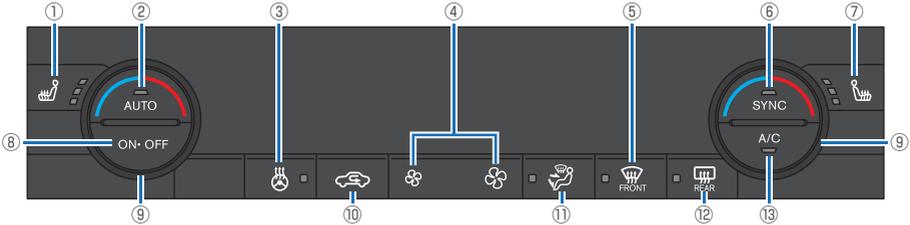
10 電動パーキングブレーキスイッチ…P.15

オートブレーキホールドスイッチ…P.15

11 ドライブモードセクター…P.16

オートエアコン（独立温度調整機能（運転席、助手席））

各部名称と機能



- ① 助手席ヒーターシートスイッチ*
スイッチを押すごとに、HI ⇒ MID ⇒ LO ⇒ OFF ⇒ HI の順に切り替わります。
- ② AUTO スイッチ
自動制御に切り替えます。吹き出し温度、吹き出し口、風量の切り替えを自動で制御して設定した温度に保ちます。
- ③ ステアリングヒータースイッチ*
ハンドルを温めます。
- ④ 風量調節スイッチ
風量を切り替えます。
- ⑤ デフロスタースイッチ
フロントガラスのくもりが取れます。
- ⑥ SYNC スイッチ
スイッチを押すと、SYNC モードが ON になります。
- ⑦ 運転席ヒーターシートスイッチ*
スイッチを押すごとに、HI ⇒ MID ⇒ LO ⇒ OFF ⇒ HI の順に切り替わります。
- ⑧ ON・OFF スイッチ
オートエアコンの ON・OFF を切り替えます。
- ⑨ 温度調節ダイヤル
設定温度を切り替えます。SYNC モードが ON のときは、運転席側で温度を調節すると助手席側も同時に温度調節します。
- ⑩ 内外気切り替えスイッチ
スイッチを押すごとに、内気循環、外気導入が切り替わります。（内気循環のとき、スイッチの表示灯が点灯します。）
- ⑪ 吹き出し口切り替えスイッチ
吹き出し口を切り替えます。
- ⑫ リヤウインドーデフォグガースイッチ
バックドアガラスのくもりが取れます。また、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動して、霜やくもりが取れます。
- ⑬ A/C スイッチ
冷房・除湿機能の ON・OFF を切り替えます。

※ グレード、オプションなどによりスイッチの位置は異なります。

センターパネルまわり

パワースイッチ

モードの切り替え

インテリジェントキーを携帯しているとき、ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すとモードが切り替わります。

ワイヤレス充電器*

ワイヤレス充電器は Qi 対応スマートフォンの充電専用です。

EV モードスイッチ

チャージモード

強制的にエンジンを始動し、リチウムイオンバッテリーの充電を行います。マナー (EV) モードによる走行距離を長くしたいとき、あらかじめリチウムイオンバッテリーを充電するモードです。



マナー (EV) モード

エンジンの始動を極力抑えて走行することができます。リチウムイオンバッテリーの電力だけで走行するので、早朝や深夜の住宅街など、静かに走行したいときに使用するモードです。

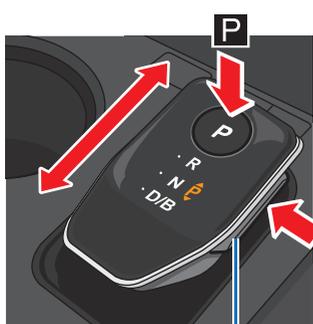


e-Pedal Step

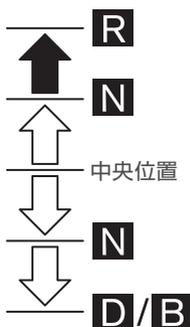
アクセルペダルの操作のみで加減速を行い、ブレーキペダルへ踏み替える頻度を大幅に減らすことができます。

セレクトレバー

セレクトレバーの使いかた



ボタン



セレクトレバー操作	
	ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。
	ブレーキペダルを踏んだままボタンを押さずにそのまま操作します。

シフトポジション	操作方法	働き
P	セレクトレバーにあるⓄスイッチを押します。	駐車および e-POWER システムを始動するとき
R	ブレーキペダルを踏みながら、ボタンを押して車両前方へ 2 段階スライドさせます。	後退するとき
N	P のときは、ブレーキペダルを踏みながら車両前方、または車両後方に 1 段階スライドさせしばらく保持します。 D ・ B のときは、ブレーキペダルを踏みながら車両前方に 1 段階スライドさせ、しばらく保持します。 R のときは、ブレーキペダルを踏みながら車両後方に 1 段階スライドさせ、しばらく保持します。	動力が伝わらない状態
D	ブレーキペダルを踏みながら、車両後方に 2 段階スライドさせます。	通常走行するとき
B	D のときに車両後方に 2 段階スライドさせると B に切り替わります。もう一度 2 段階スライドさせると D に戻ります。	下り坂などで、強い回生ブレーキが必要なとき

センターパネルまわり

電動パーキングブレーキ

スイッチ操作で、パーキングブレーキをかけることができます。

電動パーキングブレーキの使いかた

- ・ ブレーキペダルをしっかりと踏んでスイッチを操作します。
- ・ 作動させるとき：スイッチを引きます。
電動パーキングブレーキスイッチ表示灯：点灯
電動パーキングブレーキ警告灯：約 2 秒後に点灯
- ・ 解除するとき：スイッチを押します。
電動パーキングブレーキスイッチ表示灯：消灯
電動パーキングブレーキ警告灯：消灯

電動パーキングブレーキスイッチ表示灯



電動パーキングブレーキスイッチ

自動解除のしかた

電動パーキングブレーキがかかっている状態で、シフトポジションを **D** または **R** にし、アクセルペダルを踏み込みます。パーキングブレーキが解除され、電動パーキングブレーキ警告灯が消灯します。

オートブレーキホールド

オートブレーキホールド機能は、信号待ちなどの停車中にブレーキ力を保持する機能です。

オートブレーキホールドの ON・OFF のしかた

<オートブレーキホールドを ON にする方法>

- ・ オートブレーキホールドスイッチを押します。
- ・ ON になると、オートブレーキホールドスイッチ表示灯が点灯します。
- ・ 使用できる条件になるとメーター内のオートブレーキホールド表示灯（白色）が点灯します。

オートブレーキホールドスイッチ表示灯



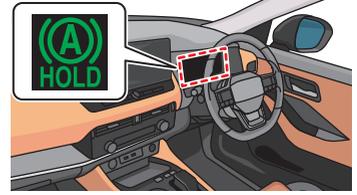
オートブレーキホールドスイッチ

<オートブレーキホールドを OFF にする方法>

- ・ オートブレーキホールド機能が ON のとき、オートブレーキホールドスイッチを押すと、スイッチの表示灯が消灯しオートブレーキホールド機能が OFF になります。
- ・ ブレーキ力が保持されている状態で、オートブレーキホールドを OFF にするときは、ブレーキペダルを踏みながらオートブレーキホールドスイッチを押します。

オートブレーキホールドの作動

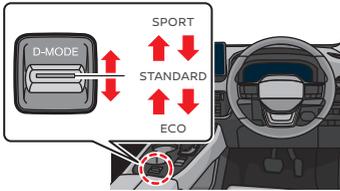
- ・ ブレーキペダルを踏んで停車します。
オートブレーキホールド表示灯が白色から緑色に変わり、ブレーキペダルを踏み続けなくてもブレーキ力が保持されます。
- ・ アクセルペダルを踏むと保持を解除し、発進します。



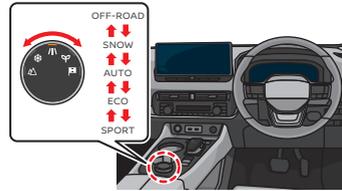
ドライブモードセクター

複数のドライブモードがあります。目的に応じて使い分けてください。

■ 2WD 車



■ e-4ORCE (4WD) 車



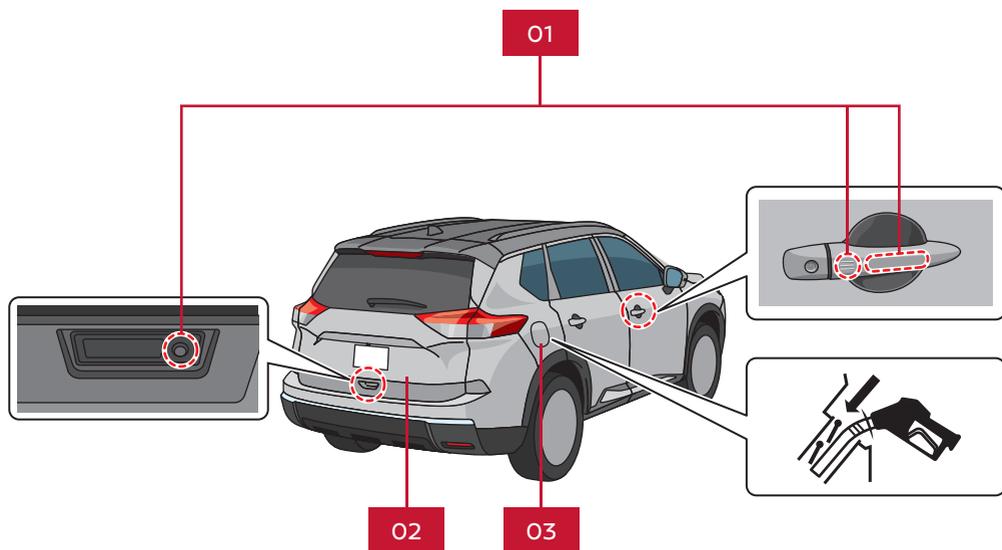
各モードの働き (2WD 車)

ドライブモード	特徴
SPORT	より力強いスポーティな走行に適するモード <ul style="list-style-type: none"> ・ アクセルペダル踏み込みに対する加速レスポンスを高めて加速性能を向上させ、力強い走りができる ・ アクセルペダルオフ時に、回生ブレーキを強めており、微量な加減速コントロールによって、車両姿勢変化を作りやすい ・ ステアリングの操舵力が重めになり、コーナリング中にしっかりとした手応えを与え、スポーティドライブを楽しめる
STANDARD	EV 車のようなスムーズな加速性能と燃費を両立する通常走行に最適なモード <ul style="list-style-type: none"> ・ モーター駆動特有の滑らかでレスポンスのよい力強い加速と、快適な乗り味をバランスよく楽しめるモード
ECO	燃費の向上を重視するモード <ul style="list-style-type: none"> ・ 穏やかな加速性能により、エネルギー消費を抑えられるモード ・ アクセルペダル OFF 時の回生ブレーキを強めて、多くのエネルギーを回収できる。また、フットブレーキの踏み変え頻度を低減し、運転ストレスを軽減させる

センターパネルまわり

各モードの働き (e-4ORCE (4WD) 車)

ドライブモード	特徴
 OFF-ROAD	凹凸や段差のある未舗装路や登坂、砂地での発進や走行を容易にするモード ・滑りやすい路面やぬかるみでも、スリップが少なく発進し、力強く走ることができる
 SNOW	モーターのきめ細かな制御と前後駆動力配分により、雪道や凍結路面での発進や走行を容易にするモード ・モーターのきめ細かな制御により、滑りやすい路面でも、スリップを抑えて、気を使うことなく発進できる ・前後モーターの力強い加速でスタックを防ぎ、深雪でも走破できる ・最適な前後駆動配分により、滑りやすい路面でも思い通りに走行できる
 AUTO	EV 車のようなスムーズな加速性能と燃費を両立する通常走行に最適なモード ・モーター駆動特有の滑らかでレスポンスのよい力強い加速と、快適な乗り味をバランスよく楽しめるモード
 ECO	燃費の向上を重視するモード ・穏やかな加速性能により、エネルギー消費を抑えられるモード ・アクセルペダル OFF 時の回生ブレーキを強めて、多くのエネルギーを回収できる。また、フットブレーキの踏み変え頻度を低減し、運転ストレスを軽減させる
 SPORT	より力強いスポーティな走行に適するモード ・アクセルペダル踏み込みに対する加速レスポンスを高めて加速性能を向上させ、力強い走りができる ・アクセルペダルオフ時に、回生ブレーキを強めており、微量な加減速コントロールによって、車両姿勢変化を作りやすい ・ステアリングの操舵力が重めになり、コーナリング中にしっかりとした手応えを与え、スポーティドライブを楽しめる



01 ドアハンドルセンサー、バックドアスイッチ

02 リモコンオートバックドア*…P.19

03 キャップレス給油口

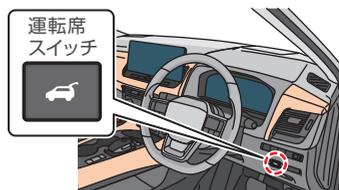
給油口にキャップはありません。給油ノズルを直接差し込むだけで給油することができます。

リモコンオートバックドア★ ⚙️

リモコンオートバックドアは、スイッチの操作やハンズフリー機能でバックドアを自動（電動）開閉することができます。

リモコンオートバックドア運転席スイッチ（自動開閉）

運転席スイッチを長押しすると、バックドアを自動で開閉することができます。



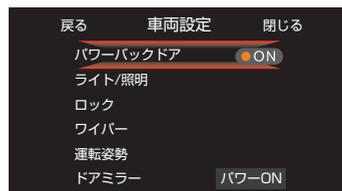
リモコンオートバックドア開閉スイッチ（自動開閉）

バックドアを解錠してからリモコンスイッチのボタンを長押しするとバックドアを自動（電動）で開閉することができます。



リモコンオートバックドアの ON・OFF のしかた

メーター内のディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「車両設定」⇒「パワーバックドア」を選択すると、自動開閉機能の ON・OFF を切り替えることができます。



ハンズフリーセンサー（自動開閉）

リヤバンパーの下部に設けられたセンサーによって足の動きを感じ、バックドアの開閉を自動（電動）で行います。

ハンズフリーセンサー中心から左右に約 400mm ずつの範囲がセンサー有効範囲です。有効範囲の間で足先の出し入れを行ってください。

足を入れる位置

目安：バックドアオープナースイッチの真下あたり

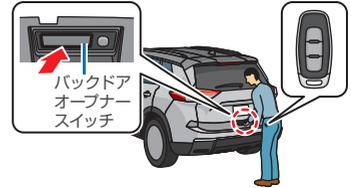
- ・ 足を入れたままにしていると作動しません。
- ・ バックドアが自動（電動）開閉中に、足先を入れて引く動作を行うとその位置で停止します。再度、足先を入れて引く動作を行うと、停止前とは反対の方向に動き、全開または全閉します。

<操作前の確認>

インテリジェントキーを携帯します。

バックドアオープナースイッチ（自動開）

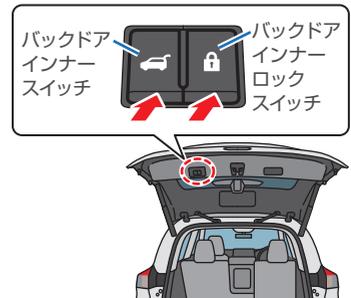
スイッチを押すと自動（電動）でバックドアが開きます。



バックドアインナースイッチ、バックドアインナーロックスイッチ（自動閉）

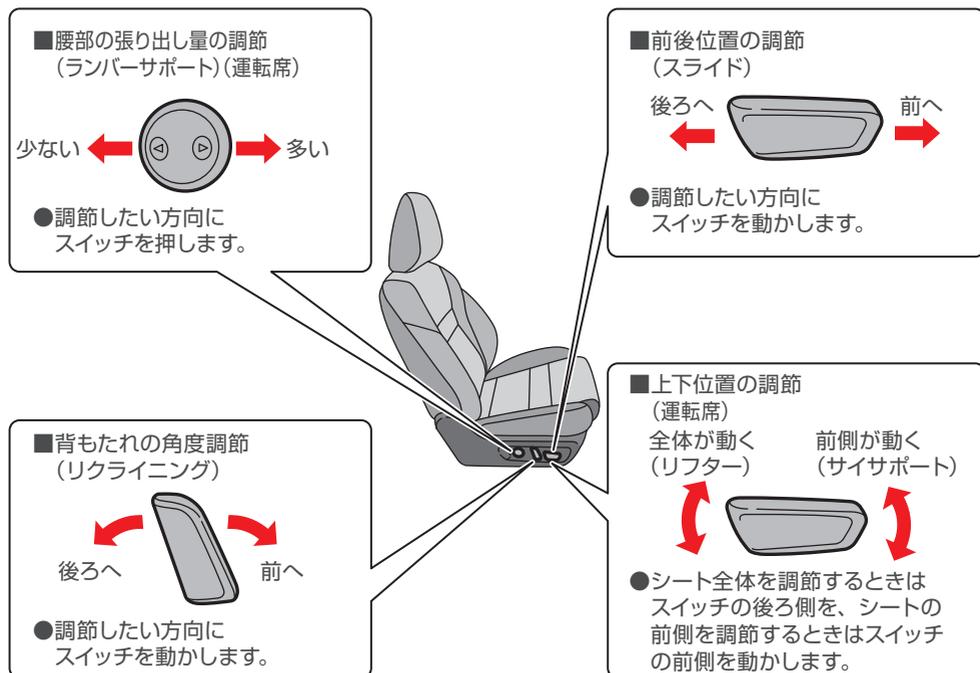
バックドアインナースイッチを押すと自動（電動）でバックドアが閉まります。

バックドアインナーロックスイッチを押すと、全ドアが施錠されバックドアが全閉します。



フロントシート

シート調節 (パワーシート) *



パーソナルドライビングポジションメモリーシステム*

あらかじめ運転ポジションを登録することで、登録した運転ポジションをメモリースイッチで呼び出すことができる機能です。

＜スイッチメモリー機能の使いかた＞

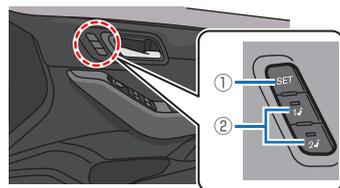
2名分の運転ポジションを登録して呼び出すことができます。

1 シート位置、ドアミラー位置*を調節します。

2 SETスイッチ①を押し、5秒以内に登録させたい方のメモリースイッチ②を押します。

(登録が完了すると、ブザーが鳴るとともに登録したメモリースイッチ②の表示灯が数秒間点灯します。)

3 呼び出すときは、記憶を呼び出したい方のメモリースイッチ②を押します。



シート調節 (マニュアルシート) *

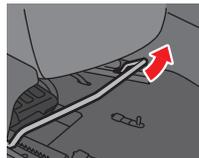
■ 背もたれの角度調節 (リクライニング)

- レバーを引いたまま、調節したい方向に背もたれを動かします。



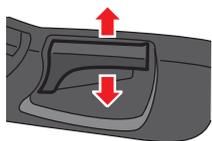
■ 前後位置の調節 (スライド)

- 引いたまま調節したい方向にシートを動かします。



■ 上下位置の調節 (リフター・運転席)

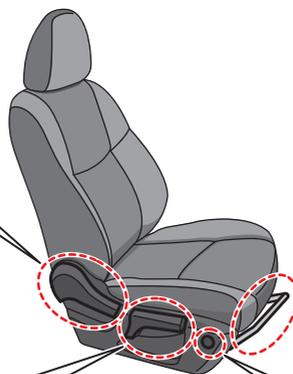
- 引き上げると高くなります。
- 押し下げると低くなります。



■ 腰部の張り出し量の調節 (ランバーサポート) (運転席)

少ない ← (調節ダイヤル) → 多い

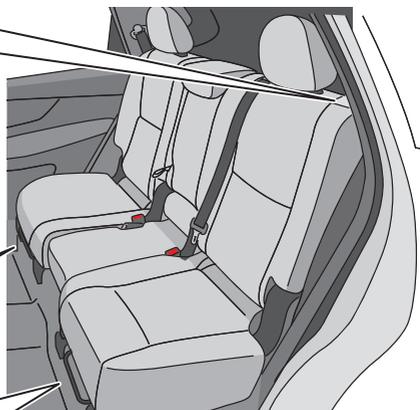
- 調節したい方向にスイッチを押します。



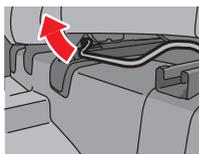
セカンドシート

シート調節

- 背もたれの角度調節 (リクライニング)
- レバーを引いたまま調節したい方向に背もたれを動かします。



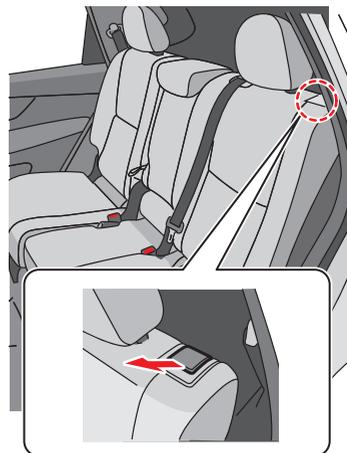
- 前後位置の調節 (スライド)
- レバーを引いたまま、調節したい方向にシートを動かします。



ウォークイン機構 (3 列車)

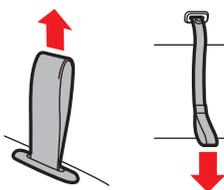
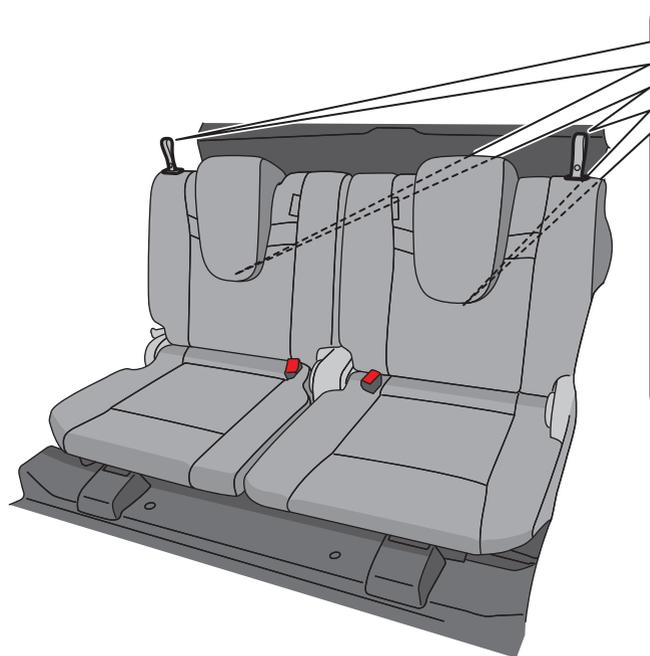
1 リクライニングレバーを引いて、背もたれが止まるところまで傾けます。

2 シートを前方にスライドさせます。
戻すときは、シートを後方にスライドさせたあと、背もたれを起こして固定します。



サードシート*

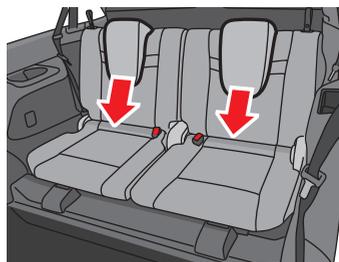
シート調節



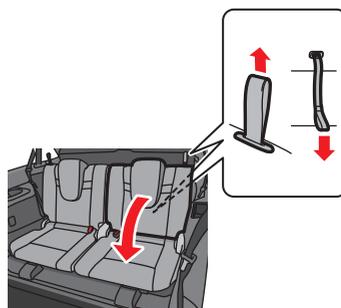
- 背もたれの角度調節 (リクライニング)
- ストラップを引いたまま、背もたれを傾けます。

シートの折りたたみかた

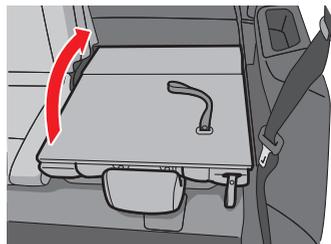
1 ヘッドレストを一番下に下げます。



2 ストラップを引いたまま、背もたれを前に倒します。



3 元に戻すときは、背もたれをロックする位置まで戻してから、ストラップを引いて背もたれの角度を調節します。



便利な機能

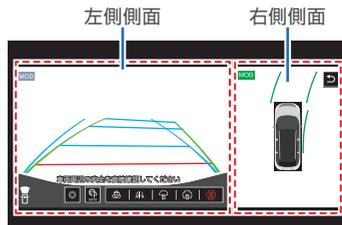
インテリジェント ルームミラー

インテリジェント ルームミラーモードに切り替えると、車両後方にあるカメラで映し出された映像（モニター表示）に切り替わります。



インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能、3D ビュー機能付）★

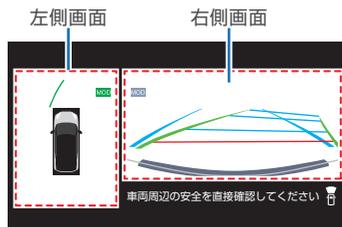
インテリジェント アラウンドビューモニター（3D ビュー機能付）は自車両を周囲から見ているような映像を映し出すことで、駐車時の運転操作を支援します。



※本表示は NissanConnect インフォテインメントシステム装着車の表示になります。グレード、オプションなどにより表示は異なります。

インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）

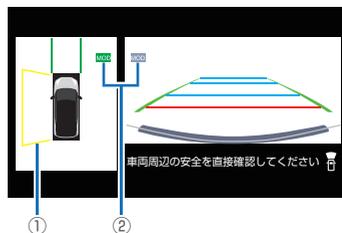
インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）は自車両を上から見ているような映像を映し出すことで、駐車時の運転操作を支援します。



移動物 検知機能

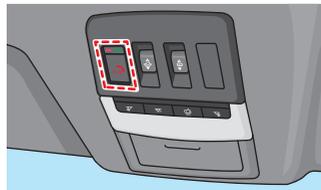
車庫入れや駐車場からの発進時に自車周辺の移動物を検知し、音と黄枠①を表示して移動物を運転者にお知らせする機能です。

機能が作動している画面には移動物 検知機能作動状態アイコン②が緑色で表示されます。



先進事故自動通報システム*

SOS コールスイッチを押すことで SOS コールを開始できます。また、事故発生時（SRS エアバッグ、SRS サイドエアバッグ、SRS カーテンエアバッグ展開時）には自動で SOS コールを開始します。



警告

プロパイロット パーキングの性能には限界があります。安全運転を行う責任は運転者にありますので、通常の運転操作と同様に、周りの状況をミラーや目視で直接確認し、周囲の車両や障害物、人などに接触しそうな場合はブレーキペダルを踏んで車両を停止してください。

※重要な警告・注意事項がありますので、ご使用前には必ず車両取扱説明書をお読みください。

プロパイロット パーキング*

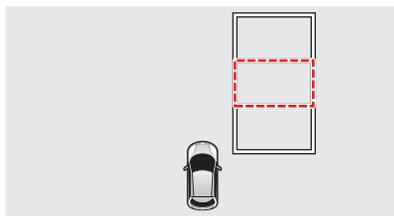
プロパイロット パーキングは、車庫入れ、縦列駐車、前向き駐車を支援する機能です。

カメラとソナーにより駐車位置を検出し、アクセル、ブレーキ、ステアリング、シフトポジション操作を制御することにより駐車操作を支援します。

操作例：車庫入れ（右側）

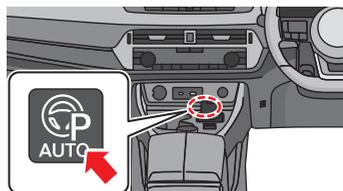
1

駐車したい場所の手前で停車します。



2

プロパイロット パーキングスイッチを押すと、プロパイロット パーキングが起動します。

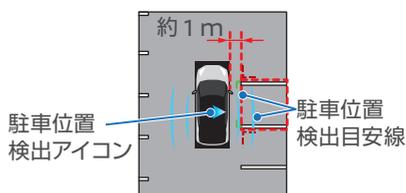


3

ゆっくりと前進し、駐車したい場所の真横（約1m）でブレーキペダルを踏んで停車します。

駐車位置検出アイコンが駐車したい場所の中央付近を示すように車両を停止します。

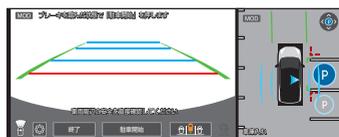
2本の駐車位置検出目安線（水色）の範囲内に駐車区画線が入るように車を移動すると、駐車位置を検出しやすくなります。



4

停車状態で、駐車したい場所に㊸が表示されていることを確認してください。

㊸が表示されている駐車場所内や周辺に近接した障害物がないこと、車両が駐車できる十分な広さがあり、駐車可能な場所であることを確認してください。



5

ブレーキペダルを踏んだまま画面上の“駐車開始”をタッチするとプロパイロット パーキング制御アイコンが緑色になり、自動でブレーキをかけて停車状態を保持します。

ソナー、カメラで検出した障害物により駐車位置まで移動できないと判断した場合は、駐車制御が開始されません。その場合は通常走行で駐車を行ってください。



プロパイロット パーキング制御アイコン

6

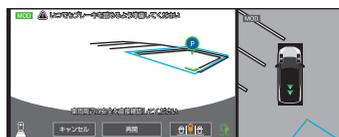
ブレーキペダルを離すと切り返し目安枠の方向（矢印の向き）に車両が移動します。周辺状況に応じてブレーキペダルを踏んで車速を調整してください。



7

切り返し目安枠（緑色）に到達するとシフトポジションが自動で切り替わり、車両が後退します。

障害物などがあり切り返し目安枠に到達できない場合は、ブレーキペダルを踏んで障害物の手前で車両を停止させ、セレクトレバーで進行方向を切り替えてください。



8

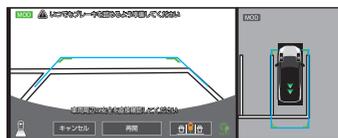
駐車目安枠（水色）に到達すると車両が停止し、駐車制御が終了します。

駐車制御が終了すると、音と表示でお知らせします。

そのとき、シフトポジションが **P** に切り替わり、電動パーキングブレーキが作動します。

駐車目安枠（水色）に到達する前に駐車制御が自動で終了することがあります。

障害物などがあり駐車目安枠に到達できない場合は、ブレーキペダルを踏んで車両を停止させ、画面上の "キャンセル" をタッチしてプロパイロットパーキングを終了させてください。



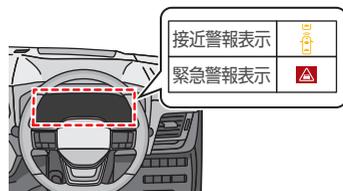
注意

走行支援機能は運転者の安全運転を補助するものであり、あらゆる状況での衝突を回避するものではありません。運転者はシステムに頼った運転をせず、周囲の状況に注意して常に安全運転を心がけてください。

※重要な警告・注意事項がありますので、ご使用前には必ず車両取扱説明書をお読みください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

インテリジェント エマージェンシーブレーキは前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。



踏み間違い衝突防止アシスト

踏み間違い衝突防止アシストには、次の2つの機能があります。

低速加速抑制機能

- ・ 前進時または後退時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者（前進時）、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。

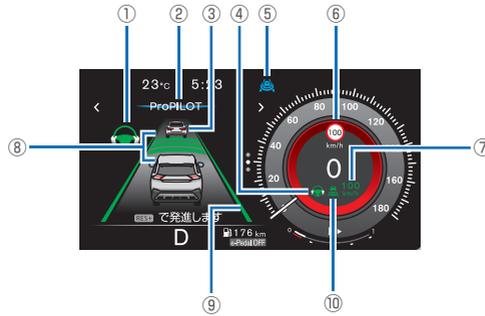
低速衝突軽減ブレーキ機能

前進、または後退時、進行方向に車両や歩行者（後退時）、壁などの障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、e-POWERシステムの出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。

プロパイロット★

プロパイロットは、運転者が設定した車速を上限に先行車と車速に応じた車間距離を保ちながら、車線中央付近を走行するための運転操作を支援します。

プロパイロット表示



メーター表示項目		表示内容	
①	ハンドル支援の作動状態	灰色⇒ハンドル支援待機中	緑色⇒ハンドル支援中
⑨			
②	プロパイロットの作動状態	プロパイロット作動中は青色に点灯します。	
③	先行車検出の有無	表示⇒先行車検出有り	非表示⇒先行車検出無し
④	ハンドル支援作動灯／警告灯	灰色⇒ハンドル支援待機中	黄色⇒車線維持機能（ハンドル支援）が故障状態
		赤色⇒ハンドルを離している状態（手放し警報のみ）	緑色⇒ハンドル支援中
⑤	プロパイロットの作動状態	白色⇒プロパイロット ON	青色⇒プロパイロット作動開始
⑥	標識検知表示	標識検知機能で検出された速度標識と運転者への操作支援を表示します。	
⑦	設定車速	設定車速を表示します。	
⑧	車間設定の表示	車間距離の設定状況を表示します。	
⑩	車速・車間制御作動状態	車両アイコン非表示⇒先行車検出無し（定速制御中）	車両アイコン表示⇒先行車検出有り（定車間制御中）
		白色⇒プロパイロット ON	緑色⇒プロパイロット作動開始
		黄色⇒プロパイロットが故障状態	
		車間距離の設定状況を表示	

走行支援機能

セットのしかた

- 1 プロパイロットスイッチを押します。
 - ・ディスプレイにプロパイロットの状態が表示されます。



- 2 設定したい速度まで加速または減速し、**CANCEL** スイッチを SET- 側に押します。

プロパイロットスイッチを 1.5 秒以上押し続けると、定速制御機能に切り替わり、アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。(ハンドル制御や車間制御は行いません。)

解除のしかた

次のいずれかの操作でプロパイロットが解除されます。

- ・ **CANCEL** スイッチを押す。
- ・ ブレーキペダルを踏む(車速・車間制御機能により、自車が停止しているときを除く)

設定車速の変更のしかた

- ・ 設定車速を上げたいときは、**CANCEL** スイッチを RES+ 側に押します。
- ・ 設定車速を下げたいときは、**CANCEL** スイッチを SET- 側に押します。

車間距離設定の変更のしかた

ステアリングの  スイッチを押します。

- ・  スイッチを押すごとに、「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。

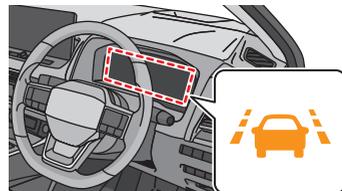
ハンドル支援機能の ON・OFF のしかた

<スイッチでの ON・OFF のしかた >

ハンドル支援スイッチを押すごとにハンドル支援の ON・OFF を切り替えることができます。

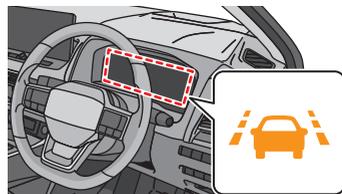
LDW (車線逸脱警報)

運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうになると、ステアリングホイール(ハンドル)の振動と表示によって運転者に注意を促します。



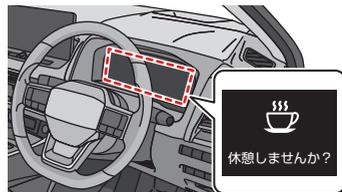
インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) ⚙️

運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうになると、ステアリングホイール (ハンドル) の振動と表示とともにブレーキを制御し、車両の向きを変える方向に制御力を短時間発生させ、運転者が自車を車線内に戻す操作を促します。



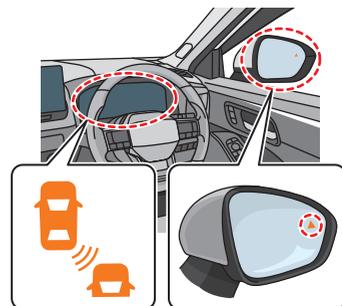
インテリジェント DA (ふらつき警報) ⚙️

ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、警報音 (ブザー) と表示によって運転者に休憩を促します。



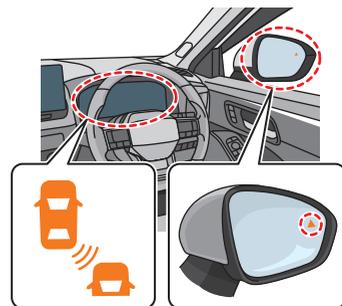
BSW (後側方車両検知警報) * ⚙️

隣車線の車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると、警報音 (ブザー) とともにメーター内のディスプレイの BSW (後側方車両検知警報) 表示と、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。



インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) * ⚙️

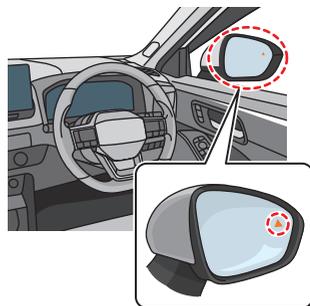
隣接車線に車両がいるときに運転者が車線変更を開始した場合、警報とともに車両を元の車線内に戻す方向に力を発生し、隣接車両との接触を回避するよう支援します。



走行支援機能

RCTA (後退時車両検知警報) * ⚙️

後退時に後方を横切ろうと接近する車両を検知した場合、警報によって運転者に注意を促します。



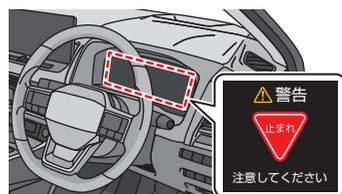
進入禁止標識検知 ⚙️

前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合にはメーター内のディスプレイに警告表示します。



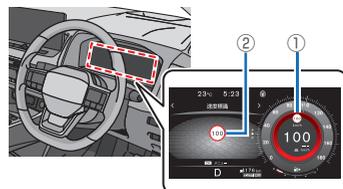
一時停止標識検知 ⚙️

前方の一時停止標識を検知した場合にはメーター内のディスプレイに表示します。



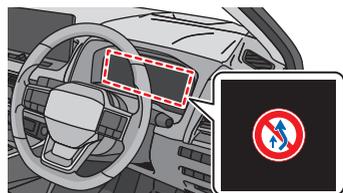
最高速度標識検知

前方の最高速度標識を検知した場合には、メーター内のディスプレイ ①、および走行支援グループ  ②に表示されます。



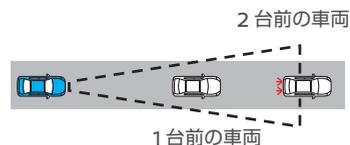
はみ出し通行禁止標識検知

前方のはみ出し通行禁止標識を検知した場合には、ディスプレイに警告表示します。



インテリジェント FCW (前方衝突予測警報)

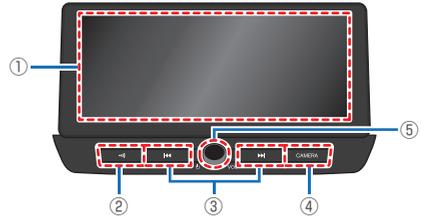
インテリジェント FCW (前方衝突予測警報) は前方を走行する 2 台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合には、メーター内のディスプレイの接近警報表示がオレンジ色に点滅するとともに警報音 (ブザー) を鳴らして、運転者に注意を促します。



各部の名称と機能

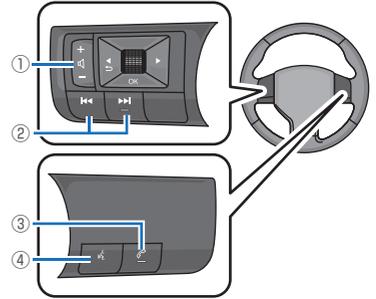
タッチパネル周辺の名称と機能

- ① タッチパネル
画面タッチでさまざまな機能の操作や設定をします。
- ②  ボタン
交通情報をききます。
- ③  ボタン
チャンネル送り、自動選局、曲変更などができます。
長押しすると、再生中の曲の早戻し、早送りができます。
- ④  ボタン
カメラの画面を表示します。
- ⑤  ダイアル
押すごとにオーディオを ON/OFF します。回すと音量を調節します。
オーディオが OFF のときに回すと ON になります。



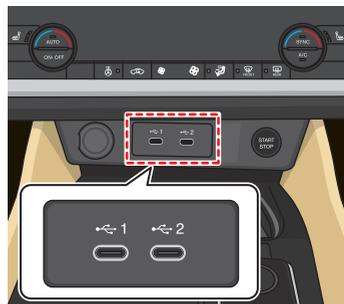
ステアリングスイッチの名称と機能

- ①  スイッチ
音量を調整します。
- ②  スイッチ
ラジオ/テレビの選局や iPod などの選曲をします。
長押しすると、再生中の曲の早戻し、早送りができます。
- ③  スイッチ
ハンズフリーフォン操作画面に切り替えたり、通話に応答したり終了したりします。
- ④  スイッチ
Google アシスタントを起動します。
Apple CarPlay または Android Auto™ 操作時に長押しすると音声で操作ができます。

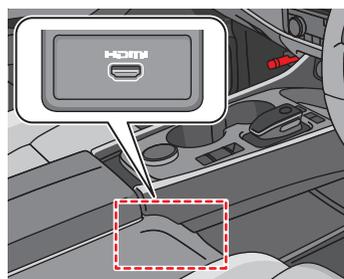


外部機器入力について

- ・ インストルメントパネルに USB 電源ソケットがあります。USB メモリや iPod/iPhone または Android™ スマートフォンを接続できます。



- ・ HDMI 端子は、ロアコンソールトレイの後方にあります。外部機器を接続して映像や音声を視聴できます。



機器接続 (Bluetooth® 対応機器の接続)

Bluetooth® 対応機器の初期登録

Bluetooth® 対応の携帯電話を使ってハンズフリーフォンとして使用したり、Bluetooth® 対応のオーディオ機器を使って Bluetooth® オーディオとして使用したりすることができます。

ランチャーメニューの [🏠] → [⚙️] → [機器接続] → [登録機器] → [登録] をタッチし、Bluetooth® 対応機器の Bluetooth® 設定でデバイス検索し、[MY CAR] を選択することで、Bluetooth® 対応機器を登録します。

Bluetooth® 対応機器の機種によって、パスキー入力が必要です。

※ Bluetooth® 対応機器の操作手順は、各社取扱説明書をご覧ください。



Google アプリおよびサービスについて

Google 搭載のインフォテインメントシステムでは、Google アプリおよびサービスをご利用いただけます。一部の機能については、インターネット接続や Google アカウントへのログインが必要です。

アプリ	機能
Google マップ	運転ルートの案内や近くの施設の検索などのナビゲーション機能が使え、最新の道路状況や地図が表示されます。
Google アシスタント	「OK Google」と話しかけるだけで、音楽再生、目的地設定、電話発信など、さまざまな機能を音声で操作できます。
Google Play	さまざまなアプリをダウンロードして使用することができ、音楽アプリなどのコンテンツを車内で楽しみいただけます。

Google アプリおよびサービスの利用にあたって必要なこと

Google アプリおよびサービスのご利用には、Google アカウントとインターネット接続が必要です。

Google アカウント

Google アカウントの作成は、以下の WEB サイトを参照してください。

<https://www.google.com/intl/ja/account/about/>

詳しくはこちら



Google、Android、Google Play、Google マップ、およびその他のマークは Google LLC の商標です。ご利用には、互換性のある Android スマートフォンと互換性のある有効なデータプランが必要です。

インターネット接続

インターネット接続に関しては以下の2つの方法がございます。

(1) お手持ちの携帯電話等のWi-Fi通信機器でインターネット接続する

ランチャーメニューの[🏠]→[⚙️]→[機器接続]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi]をタッチしてONにし、Wi-Fiネットワークを選択します。パスワードを入力することで、Wi-Fi機器を登録します。

※Wi-Fi機器の操作手順は各社取扱説明書をご覧ください。



(2) NissanConnect サービスに加入しインターネット接続する

NissanConnect サービスにご加入頂ければ外部のWi-Fi機器でインターネット接続せずにGoogleのアプリおよびサービスをご利用頂けます*。

【NissanConnect サービスとは】

車両搭載の通信機を利用して、快適で安心、便利な様々なサービスを提供しています。詳しくはこちら

例えば、遠く離れている場所からスマホのアプリでエアコンを作動させることができたり、車の鍵の閉め忘れがチェックでき、開いていたらリモート操作でロックができたりします。

詳細については、次のWebサイトを参照してください。

<https://www3.nissan.co.jp/connect.html>



*Google Playでダウンロードしたアプリをお使いの場合は、NissanConnect サービスでの通信環境以外のインターネット接続も必要になります。

初期設定手順

- ・ 初期設定を行う場合、車両を安全な場所に駐車してください。
- ・ 初期設定手順は、以下の Web サイトの動画でご確認いただけます。
https://www.nissan.co.jp/CATALOG/QR/CONNECT/OM/mov_gas_setting.html

初期設定手順



- 1) パワースイッチを ON します。
- 2) ランチャーメニューの [] をタッチする。
- 3) 画面をスワイプして [ユーザー切替] をタッチする。
- 4) ユーザー画面上部の [] をタッチする。
- 5) プロファイルをタッチする。
- 6) ユーザープロフィール画面の [プロファイル設定] をタッチする。
- 7) 言語を選択し、[開始] をタッチする。
- 8) Wi-Fi に接続するため、ネットワーク名を選び、パスワードを入力した後、[接続] をタッチする。
ただし、NissanConnect サービスにご加入いただいている場合、表示されません。
- 9) プロフィール名を入力し、[次へ] をタッチする。
- 10) プロフィールをカスタマイズする画面が表示されるので、各項目を設定する。
- 11) [設定完了] をタッチすると、完了します。

上記の初期設定手順は、WEB サイトの動画でもご確認いただけます。

https://www.nissan.co.jp/CATALOG/QR/CONNECT/OM/mov_gas_setting.html

※初期設定の手順は予告なく変更される場合があります。

プロフィールのカスタマイズ項目

カスタマイズ項目	操作手順
NissanConnect サービス	NissanConnect サービスの ID とパスワードを入力しログインする。
アシスタントとアプリの設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google アカウントと連携させるため、画面表示の二次元コードを携帯電話のカメラで読み取り、携帯電話の表示に従い、Google にログインしてください。 ・ あるいは、画面の [別の方法] をタッチし、Google アカウントの ID とパスワードを入力しログインしてください。
スマートフォンを Bluetooth で接続	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bluetooth® 接続をオンにした機器のデバイス名を選択してください。 ・ [ペア設定する] をタッチすると、Bluetooth® 機器にも Bluetooth® ペア設定コードが表示されるため、同じであることを確認し、ペアリングを許可し接続する。
プロフィールのロック	パターンコード、PIN コード、パスワード、プロフィールロックを使用しないの 4 種類の設定ができます。画面の指示に従い設定します。

※ Wi-Fi 設定を含め各項目はスキップできます。後から設定する手順は、NissanConnect インフォテインメントシステム取扱説明書の「ご使用前の確認と設定」をご確認ください。

Google アプリおよびサービスに関するお問い合わせ

Google アプリおよびサービスに関するお問い合わせは、次の WEB サイトを 詳しくはこちら
参照してください。

<<https://support.google.com/built-in/#topic=9858252>>

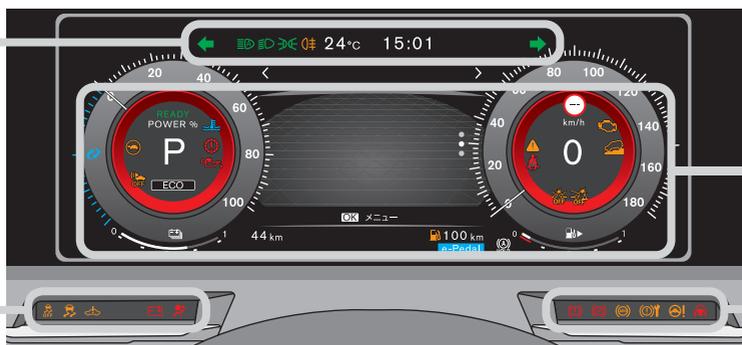


メーター警告灯・表示灯

警告灯・表示灯がついたとき

警告灯が点灯または点滅し続けたときは、車両取扱説明書の「警告灯がついたときは」を確認のうえ、日産販売会社にご相談ください。

イラストはメータータイプ④のクラシック表示です。メータータイプ④のエンハンス表示、メータータイプ⑤については、車両取扱説明書をご覧ください。



■VDC OFF 表示灯

- ・パワースイッチが ON のとき、VDC を OFF にしていると点灯します。



■e-POWER システム警告灯

- ・パワースイッチが ON のとき、e-POWER システムに異常が発生すると点灯します。



■SRS エアバッグ警告灯

- ・パワースイッチが ON のとき、SRS エアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯を続けます。



■VDC 警告灯

- ・パワースイッチが ON のとき、VDC が作動すると点滅します。



■12V 系充電警告灯

- ・e-POWER システムが作動しているとき、12V バッテリーの充電システムに異常があると点灯します。



■方向指示表示灯

- ・非常点滅表示灯を作動させると左右同時に点滅します。
- ・パワースイッチが ON のとき、方向指示器を作動させると、作動させた側のみ点滅します。



■アダプティブ LED ヘッドライト表示灯*

- ・アダプティブ LED ヘッドライトシステムを ON にすると点灯します。

■ハイビームアシスト表示灯*

- ・ハイビームアシストを ON にすると点灯します。



■ヘッドランプ下向き表示灯

- ・ヘッドランプのロービーム（下向き）を点灯させると点灯します。



■ヘッドランプ上向き表示灯

- ・ヘッドランプのハイビーム（上向き）を点灯させると点灯します。



■テールランプ表示灯

- ・車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。



■リヤフォグランプ表示灯*

- ・リヤフォグランプを点灯させると点灯します。

READY

■ 走行可能表示灯

- ・ 走行できる状態になると点灯します。(走行中も点灯し続けます。)
- ・ e-POWER システム始動時、走行可能な状態になるまで点滅します。



■ 低水温表示灯

- ・ エンジン冷却水の温度が低いと点灯します。



■ 出力制限表示灯

- ・ パワースイッチが ON のとき、リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下していると点灯します。
- ・ 上り坂の連続走行などで、走行用モーターやリチウムイオンバッテリーなどの温度が極端に高くなると点灯します。
- ・ その他の点灯については、車両取扱説明書をご覧ください。



■ 故障警告灯 (MIL)

- ・ e-POWER システムが作動しているとき、エンジン電子制御システムに異常があると点灯または点滅します。



■ 電制シフト警告灯

- ・ パワースイッチが ON のとき、電制シフトに異常があると点灯します。



■ マスターウォーニング

- ・ メーター内のディスプレイに警告メッセージが表示されると同時に点灯します。



■ アドバンスドヒルディセントコントロール表示灯 (e-4ORCE (4WD) 車)

- ・ アドバンスドヒルディセントコントロールスイッチを押し、作動が可能になると点灯します。



■ 油圧警告灯

- ・ e-POWER システムが作動しているとき、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。



■ シートベルト警告灯

- ・ パワースイッチが ON のとき、乗員がシートベルトを着用していないと点灯します。



■ 車両接近通報システム警告灯

- ・ 車両接近通報装置に異常があると点灯します。



■ インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯

- ・ インテリジェント エマージェンシーブレーキを OFF にしているときに点灯します。
- ・ その他の点灯については、車両取扱説明書をご覧ください。



■ 踏み間違い衝突防止アシスト警告灯

- ・ 踏み間違い衝突防止アシストを OFF にしているときに点灯します。
- ・ その他の点灯・点滅については、車両取扱説明書をご覧ください。



■ 燃料残量警告灯

- ・ パワースイッチが ON のとき、燃料の残量が少ないと点灯します。



■ オートブレーキホールド表示灯 (白色)

- ・ オートブレーキホールドが待機状態のとき白色に点灯します。



■ オートブレーキホールド表示灯 (緑色)

- ・ オートブレーキホールドが作動しているとき緑色に点灯します。



■ ブレーキ警告灯 (赤色表示)

- ・ パワースイッチが ON のとき、次の場合は点灯し続けます。
 - ブレーキ液が不足しているとき
 - ブレーキシステムに異常があるとき



■ 電動パーキングブレーキ警告灯

- ・ パワースイッチが ON のとき電動パーキングブレーキのシステムに異常があると点滅します。



■ ABS 警告灯

- ・ パワースイッチが ON のとき、ABS のシステムに異常があると点灯します。



■ ブレーキシステム警告灯 (黄色表示)

- ・ パワースイッチが ON のとき、次のシステムに異常があると点灯します。
 - ブレーキシステム - ヒルスタートアシスト
 - 回生ブレーキ - 電動パーキングブレーキ



■ EPS (電動パワーステアリング) 警告灯

- ・ e-POWER システムが作動しているとき、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。



■ 手放し警告灯*

- ・ プロパイロットでハンドル支援を行っているとき、ハンドルを持っていない、またはハンドル操作が検出されない点灯します。
- ・ 手放し警告灯が点灯しているにもかかわらず、運転者のハンドル操作が検出されない場合は、警告音とともに手放し警告灯が点滅し、ハンドル支援機能は解除されます。
- ・ プロパイロット (ハンドル支援) のシステムに異常があると点灯します。

Memo